

令和元年8月27日

中部地方整備局

民間活動に合わせた基盤整備調査を機動的に支援！

～令和元年度 第3回 官民連携基盤整備推進調査費の配分～

令和元年度官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業（官民連携基盤整備推進調査費）第3回募集分について、中部地方整備局管内から下記の支援事業が決定されましたのでお知らせします。

（詳細は別添2参照）

中部地方整備局管内の支援事業

調査名	実施主体
蒲原地区における新たな道の駅整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	静岡市

配布資料

別添1 : 官民連携基盤整備推進調査費の制度概要

別添2 : 令和元年度 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業 第3回実施事業一覧<中部地方整備局管内分>

参考資料 : 国土交通省（本省）プレスリリース資料（抜粋）

※詳細は、国土交通省ホームページをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/kokudoseisaku09_hh_000094.html

配布先

中部地方整備局記者クラブ、静岡県政記者クラブ、静岡市記者クラブ

問合せ先

中部地方整備局 企画部 広域計画課 課長

課長補佐

とみだ 富田 直樹
みやばやし 宮林 克行

TEL : 052-953-8129 FAX : 052-953-8294

事業概要

平成31年度予算額：331百万円

- 各地域の個性や強みを活かした特色ある成長を図るためには、民間の投資効果が最大限に引き出されるよう、民間の設備投資等と一体的に基盤整備を実施することが重要である。
- 官民が連携して実施する民間投資誘発効果の高い基盤整備や広域的な地域戦略に資する事業について、民間の意思決定のタイミングに合わせ、機を逸することなく基盤整備の構想段階から事業実施段階への円滑かつ速やかな移行を図るため、地方公共団体が行う事業化検討に対して調査費補助を行う。

事業内容

【配分先】地方公共団体(都道府県・市町村等)

【補助率】1/2

【募集・配分スケジュール】年3回配分

区分	募集期間	配分時期
第1回	1月28日～2月8日	4月23日
第2回	2月28日～4月5日	6月25日
第3回	6月13日～7月5日	8月27日

【支援内容】

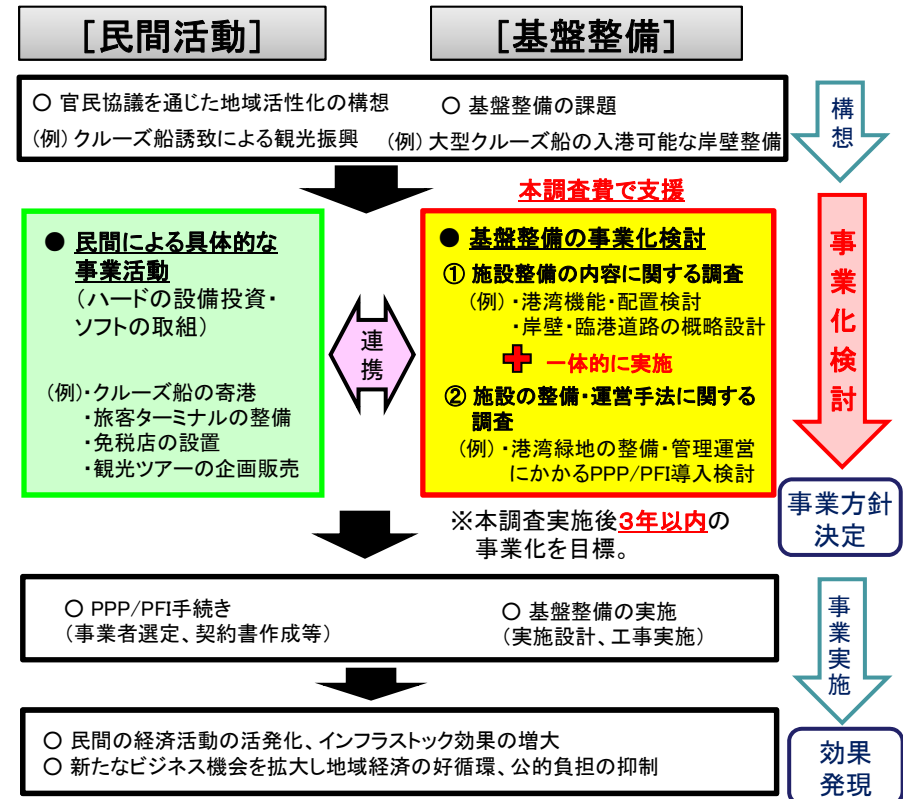
民間事業活動と一体的に行うことにより、優れた効果の発現や効率性が期待できる国土交通省所管の基盤整備※の事業化に向けた検討経費を支援

<調査内容>

- ① 施設整備の内容に関する調査
(例) 基礎データ収集、需要予測、概略設計、整備効果検討等
- ② ①で調査した施設の整備・運営手法に関する調査
(平成27年度拡充)
(例) PPP/PFI手法の選定、官民の業務分担、VFM算定等

※ 道路、海岸、河川、港湾、都市公園、市街地整備、空港等の公共土木施設

事業フロー



令和元年度 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業 第3回実施事業一覧 <中部地方整備局管内>

別添2

調査名	実施主体	対象地域	概要	実施計画額（千円）	
				事業費	国費
1 蒲原地区における新たな道の駅整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	静岡市	静岡県静岡市	静岡市東側のゲートウェイとなる蒲原地区において、増加する観光客、サイクリスト等を取り込むことによる交流拡大や地域活性化を図るため、民間事業者による観光総合窓口の運営、サイクルツーリズムの推進、地域内バス交通の運行等と合わせ、新たな道の駅整備に係る駐車場、休憩施設、情報提供施設等の需要予測や概略設計、整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	20,000	10,000

蒲原地区における新たな道の駅整備による地域活性化のための基盤整備検討調査

地域の特徴等

- 蒲原地区は、JR東海道本線、東名高速道路、国道1号など東京方面と名古屋・大阪方面とを結ぶ主要な東西交通が通る本市東側のゲートウェイである。
- 江戸時代には旧東海道の宿場として栄え、現在も古い街並みを随所に残すほか、当時と変わらない美しい富士山の姿や駿河湾の風景を見ることができ、富士川の河川堤防や海岸堤防からの美しい風景を見るため、週末には多くのサイクリストが集まる（広域観光周遊ルート「昇龍道」Ukiyo-eコース上に位置するとともに、日本風景街道『東海道「駿河2峠6宿風景街道」』に登録）。
- 令和元年7月に「静岡市道の駅基本構想(案)」を公表した。市域東端において、新たな道の駅を整備することによる交流拡大や地域活性化が期待される。

(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・ H31.3 中部横断自動車道（県内区間）の開通、R元 新東名高速道路の6車線化事業の着手による通行車両・交流人口の増加
- ・ H31.3 サイクルスポーツの聖地に向けたビジョンを市町や県民と共有しながら、官民が連携してハード・ソフトの施策を総合的に進める「静岡県自転車活用推進計画」を策定
- ・ R元.7 市域全体の方針や整備検討路線について記載した「静岡市道の駅基本構想(案)」を公表

(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・ 公益財団法人するが企画観光局（DMO）による観光総合窓口の運営
- ・ A協議会によるサイクルツーリズム推進のためのガイドツアー及びe-BIKE普及啓発のための試乗体験イベントの実施
- ・ シェアサイクル事業者（令和元年度公募予定）による市内JR駅周辺におけるシェアサイクルの運営
- ・ NPO法人Bによる新たな地域内バス交通の運行及び道の駅へのバス停の設置（令和2年度～）

密接な
関連性

(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・ 増加する通行車両や交流人口を取り込むとともに、景勝地を訪れる観光客やサイクリストの受入体制を官民が一体となって整備し、当地区の魅力や観光情報を効果的に発信できる拠点の整備が必要。

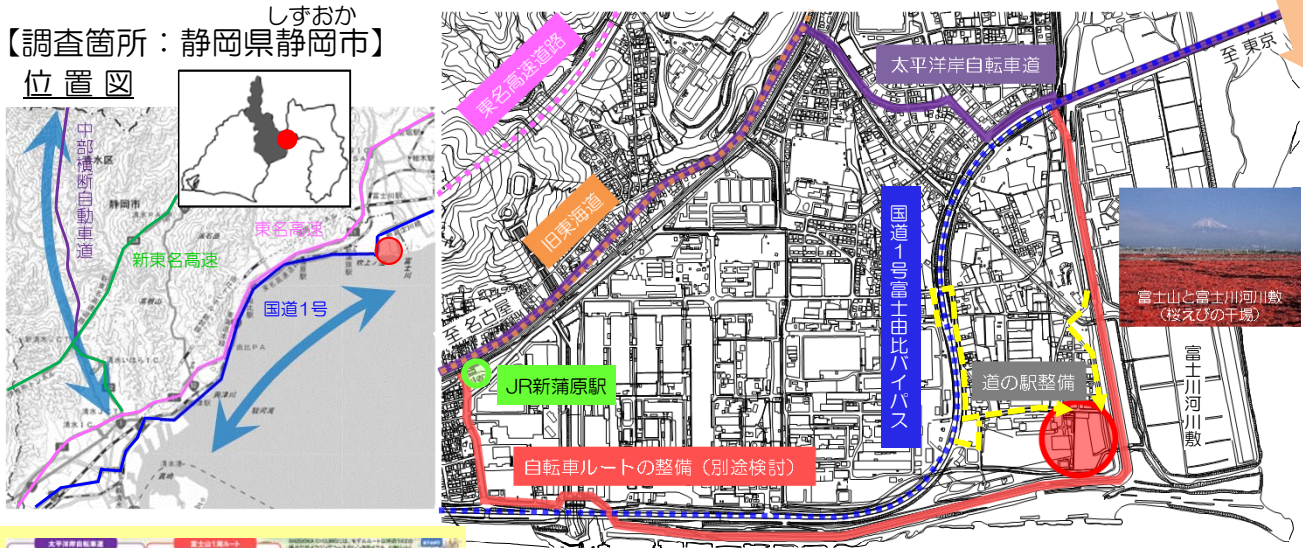
(4) 【調査内容】

- ① 道の駅に導入する機能及び具体施設の検討
- ② 施設の需要予測及び施設規模の検討
- ③ 駐車場、休憩施設、情報提供施設、地域振興施設等の配置の概略検討
- ④ 道の駅の整備及び管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

(5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・ 本市東側のゲートウェイで、DMOが観光総合窓口を運営することにより、市域全体の観光周遊の円滑化が図られ、観光交流人口の増加と消費拡大が期待される。
- ・ 太平洋岸自転車道整備に合わせ、道の駅においてサイクリストの受入環境を整備することで、サイクルツーリズムの推進及び自転車を活用した地域活性化を図ることができる。

【調査箇所：静岡県静岡市】
位置図



令和元年 8 月 27 日
国土政策局広域地方政策課

民間活動に合わせた基盤整備調査を機動的に支援！

～令和元年度 第3回 官民連携基盤整備推進調査費の配分～

国土交通省は、6月13日(木)～7月5日(金)に案件募集をした「官民連携基盤整備推進調査費(第3回募集分)」について、別添1のとおり、地方公共団体が実施する1件の調査案件の支援を決定しました。

各地域の個性や強みを活かし、特色ある地域の成長を図るためには、官民が連携し、民間の設備投資等と官による基盤整備を一体的に行うことが必要です。

本事業は、官民連携による広域的な地域戦略に資する社会基盤整備を推進するため、民間の設備投資等と一体的に実施する基盤整備の事業化検討を支援するための制度です。

(配分先：地方公共団体、補助率：1/2)

【添付資料】

- ・別添1 令和元年度第3回実施事業一覧
- ・別添2 令和元年度第3回実施事業概要
- ・別添3 官民連携基盤整備推進調査費の制度概要

【その他】

- ・募集情報や過去の実施例等は以下をご覧ください。

国土交通省 HP 「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業」

(<http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kanminrenkei.html>)

【問合せ先】

国土政策局広域地方政策課調整室

専門調査官 紙谷、成田、主査 植田

代表：03-5253-8111(内線 29-914、29-916、29-924)

直通：03-5253-8360

FAX：03-5253-1572

令和元年度 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業 第3回実施事業一覧

別添1

調査名	実施主体	対象地域	概要	実施計画額（千円）	
				事業費	国費
1 蒲原地区における新たな道の駅整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	静岡市	静岡県静岡市	静岡市東側のゲートウェイとなる蒲原地区において、増加する観光客、サイクリスト等を取り込むことによる交流拡大や地域活性化を図るため、民間事業者による観光総合窓口の運営、サイクルツーリズムの推進、地域内バス交通の運行等と合わせ、新たな道の駅整備に係る駐車場、休憩施設、情報提供施設等の需要予測や概略設計、整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	20,000	10,000